

第51回（令和4年度） 指定都市子ども会ジュニアリーダー研修会（札幌大会）

令和5年1月7日（土）～8日（日）、札幌市で第51回（令和4年度）指定都市子ども会ジュニアリーダー研修会が行われました。本来は令和2年度の開催予定でしたがコロナ禍により2度延期になり、令和4年度へ変更されました。通常夏休み中（8月）に行われていましたが、コロナの収束を期待してか、冬休みギリギリに開催されました。

令和5年度は熊本市が主管して熊本市・国立阿蘇青少年交流の家で行われますので、大会目的の他に熊本大会に向けての情報収集の目的もあり、JL2人、役員・事務局3人計5人で参加しました。

往復の日程に余裕がなく、幾つもの交通機関への乗り換えも分刻みの計画を2案立てて対応しました。



《札幌大会の概要》

1 目的

指定都市子ども会で活動するジュニアリーダーが一堂に集まり、地域における活動の情報発信など、ジュニアリーダーとしての資質向上と活動の充実・振興を図る。

2 テーマ：チカラ～知・技・伝～



3 会場：メイン会場→真駒内総合福祉センター

サブ会場→子どもの体験活動の場(Coミドリ)



4 参加者

12指定都市のJL、引率者、実行委員、札幌市子連及びスタッフ、全子連・指定都市子連 役員及び来賓、総数約80人(内オンライン参加者数人)

《研修プログラム》

【1日目】

- 1 開会式
- 2 オリエンテーション
- 3 アイスブレイク
- 4 研修① ◆レクレーションゲーム
◆レクレーションゲーム運営のポイント
- 5 抽選会



【2日目】

- 1 研修③ ◆クロスロード（防災カードゲーム）
◆ジュニアリーダーの役割（グループワーク）
- 2 見学（会場：Coミドリ） ※プレーパーク等の見学
- 3 閉会式
- 4 お別れパーティー（昼食・抽選）
- 5 解散



大会旗の引継



JLの感想

私はチカラ～知・技・伝～のテーマのもと1泊2日の札幌大会に参加しました。
各指定都市と交

流を交わすことで様々な角度から多角的に学ぶことが出来たことが1番の感想です。具体的に学んだこととして、初めにアイスブレイクがありレクで心の緊張をほぐす以外にも、レクで班のメンバーを決めたり、つなぎ目に使えるレクを知っておいたりすることで、全体が動く時にかかるちょっとした移動の時間もすぐに動けるのがすごくいいなと思いました。講師の若林卓実さんにはレクの運営のポイントとして盛り上げたり心を落ち着かせたりする流れが大事と話されており、今回はその流れをスムーズに出来るようにレクを教わりながら流れを実践出来たのでいい経験になりました。(中略)

これらを踏まえて私は多くのことを知り、レクの使い方や盛り上げ方などのたくさんの技術を身につけ、そしてそれらを熊本市に伝えていく、というのが自分なりのテーマへの思いであり知・技の2つは達成出来たと感じています。伝えていく、という部分に関してはただただ伝えて終わらせるのではなく、伝えた上で私たちが出来ることを最大限に引き出して熊本市の強みにしていきたいと考えています。(永山JLチーフ)



JLの感想

僕は初めて指定都市大会に参加したわけですが、率直に言ってタメになったと思います。新千歳空港から会場に到着するまで、熊本市代表としての責任感、他指定都市JL等との交流、本指定都市大会のテーマ「知・技・伝」への取り組み方に対して不安を抱いていましたが、大会の雰囲気は堅苦しくなく、他指定都市JL等と年齢関係なく親しみを持ってました。また、他指定都市JL等全員が積極的であった為、自分も自然と同調していました。不慣れな土地でもこうした適した交流ができることに気づきました。活動初日にレクリエーションゲーム(各都市のゲーム交換)、則ち「知・技・伝」を踏まえた研修がありました。(中略)他指定都市JLは各々が既成のゲームの内容を少し変えた、またはオリジナルのゲームであったので驚きました。自分はそれまで、レクリエーションゲームは既成のものをそのまますれば良いと考えていましたが、それは不確かだったみたいです。珍しいゲームに改良、もしくは新しいゲームを作ることによって、印象に残りやすくなるということを学びました。また、ほとんどのゲームでは体を動かしました。疲れしました。本大会を振り返ると、これまでの自分自身の旧弊を改め、良くしなければならぬと強く思いました。また熊本市JLとして意欲的に物事に取り組むべきだと思いました。(日置JL)



事務局(会場、運営等について)

コロナ禍の中、2年間延期になり、関係者は計画立案等に変な苦労されたようですが、会場は参加者数に見合った適当な広さで、サブ会場も直ぐ近くにあり、大会運営等は大変スムーズに行われました。熊本大会も今回とあまり変わらない規模の大会を予定しているので、会場設営や、スタッフの動き等は大変参考になりました。ただ、熊本大会は開会行事は熊本市で行い、主な研修(活動)は国立阿蘇青少年交流の家で2泊3日の日程を予定していますので、札幌とは違う新たな対応が必要になってきます。4月早々には全指定都市に計画を発表する必要があり、今、実行委員を中心に詳細な計画の立案中です。